

心身共にたくましく、自ら学ぶ、心豊かな子どもの育成



茅小だより 最終号

令和4年3月25日（金）

茅ヶ崎市立茅ヶ崎小学校
校長 吉野 利彦

一年間、大変 お世話になりました

丸池の桜並木が開花し、春本番が間近に迫ってきています。保護者や地域の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、18日（金）に第130回卒業証書授与式を行いました。卒業生、教職員、保護者の方々の真心が結集され、誰もが心の底から感動した最高の式となりました。新型コロナウイルスの感染防止のため、在校生や地域の方々の参列は、見送らせていただきましたが、体育館には、在校生の作品やメッセージが飾られ、在校生の思いも卒業生に届き、会場内は、とても温かな空気に包まれていました。また、これまで卒業生を様々な面から支え続けてくださった方々からも、たくさんのお祝いメッセージをいただきました。こうした中、139名の卒業生が、夢と希望をそれぞれの胸に抱きながら、中学校という新たなステージに向かって堂々と巣立っていきました。

私は、壇上で卒業証書を一人一人に心を込めて手渡しましたが、証書を受け取る卒業生の表情は、自信に満ち溢れており、本当に頼もしく感じました。6年前の入学式では、椅子に座っていても、まだ足が床につかずぶらぶらさせていたであろう子どもたちが、6年の歳月を経るとこれほどまでに立派に成長するのだと、ただただ感無量でした。

6年間を振り返れば、楽しいことばかりではなく、悔しいことや辛いことも決して少なくはなかったと思います。一生懸命頑張っても思うようにいかず、時には、あきらめかけたこともあったことでしょう。しかし、気がつくといつもそばに、家族や友達や先生がいて、温かな励ましの声をかけてくれたのだと思います。139名の卒業生の成長した姿を見て、私は、真心で接し続ければ、必ず真心が返ってくるということを改めて実感しました。

今年度は、「すべては子どもたちの『心の笑顔』のために」をスローガンに掲げ、学校運営を進めてきました。4月から、新たな「茅小の伝統」を築いていくために、全教職員が一丸となって教育活動の充実に向けてまいりますので、来年度も、保護者や地域の皆様方のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

皆様方には、1年間、本当にお世話になりました。心より御礼申し上げます。